

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-144	高等学校	家庭	家庭総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
06 教図	家総 006-901	ウェルビーイングにつなぐ 家庭総合		

1. 編修の基本方針

本教科書は、「Well-being（ウェルビーイング、身体的・精神的・社会的によい状態）の実現」をメインコンセプトとし、家庭科の学びを通して、生徒が自分の生き方を主体的に選択し、幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会の豊かさにも貢献できるようになることを目標に編修しました。本文は、各単元の導入部に設けた3つの「STEP」と、各単元末に設けた「ふり返ろう」コーナーで、「体系的な学び」ができる構成にしました。ほかにも、実習解説、アクティブ・ラーニングができるワーク、デジタルコンテンツの活用などによる「実践的な学び」ができるコーナーやページも構成に含めました。

ほかにも、家庭科とSDGsとのかかわり、小学校と中学校の家庭科で学んだキーワードや他教科とのつながり、食・衣・住における伝統的な日本なども掲載しています。

【全体構成】

本書は、家族・家庭及び福祉に関するA編、衣食住にまつわるB編、消費生活・経済計画・環境にかかわるC編からなる3編と、生活設計、ホームプロジェクト・学校家庭クラブ活動、食品成分表で構成しました。A編の前とC編の後の章に生活設計を置き、一冊を通して生活設計について意識しながら家庭科を学習できるようにしました。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Well-being マップ Well-being 人生すごろく SDGs と家庭科のつながりを考えよう 生活の課題を解決して Well-being を実現しよう！	<ul style="list-style-type: none"> •ウェルビーイングを「将来設計」「社会」「お金」「健康」「つながり」の5つの要素に分類し、それらと家庭科の各学習領域とのつながりを表現しました。また、一人一人が「自分にとってどのような人生がウェルビーイングか」を考えられるようにしました（第1号）。 •SDGsを教科書全体で扱い、口絵で大きく展開することで持続可能な社会への意識を高めることができる構成になっています（第4号）。 	口絵1-4 口絵5-6
生涯の生活設計1 ①自分の将来をイメージしよう！	<ul style="list-style-type: none"> •ライフイベントについて考えさせる資料で多様な生き方があることを認識したり、目標の設定や計画の重要性を理解したりできるようにしています（第1号）。 •自分のライフプランを考え、家庭科学習の最後にふり返る主体的な学びができるようにしました（第2号）。 	8-9頁 10頁

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>A編 第1章 青年期の自立と家族・家庭</p> <p>①自立への一歩を踏み出そう</p> <p>②家族・家庭って何？</p> <p>③将来の自分と家庭を想像しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 18歳で成人を迎えることを踏まえ、C編 第1章と連携しながら、「自立したおとなになるとはどういうことか」を考えられるようにしました。また、家族の形や役割を考えさせる内容や、法律上の規定、困り事を相談できる機関などについて掲載し、生徒が将来充実した家庭生活を送るための基本的な知識を得るとともに、家族やパートナーとともに生きることの意義が理解できるようにしています(第1号)。 日本の雇用環境や、男女共同参画に向けた日本の取り組み、ワーク・ライフ・バランスなどについて、基礎をしっかりと扱い、青年期に考えるべき職業観を養うための工夫をしています(第2号、第3号)。 	<p>13 - 21 頁 27 頁</p> <p>14 - 15 頁 24 - 26 頁</p>
<p>A編 第2章 子どもの生活と保育</p> <p>①子どもはどう生まれ育つ？</p> <p>②子どもの生活にどうかかわる？</p> <p>③子育て社会の課題とは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新しく生まれる生命を身近に感じ、新生児の小ささを実感することができるように、等身大の赤ちゃんの写真や、ひとりの子どもの成長を追った月齢・年齢別の写真などを掲載しました(第4号)。 年中行事や伝統文化について扱い、子どもの健やかな発達における児童文化財の重要性を理解できるようにしました(第5号)。 抱っこや授乳、おむつ替えなど、将来子育てをする際に実践できる乳児の世話の仕方のほか、幼児とのかかわり方などを写真つきで詳しく解説しています(第1号)。 これから子育てにかかわる世代になっていく生徒が、少子化や育児不安、仕事と子育てなど、保育に関するさまざまな問題について自分のこととして考えられるように、表現に留意しています(第3号)。 日本や世界の子どもたちを取り巻く現状について考えることができる資料を掲載しました(第5号)。 	<p>折込1 - 4 32 - 33 頁</p> <p>36 - 37 頁</p> <p>42 - 45 頁</p> <p>46 - 47 頁 50 - 53 頁</p> <p>48 - 49 頁</p>
<p>A編 第3章 高齢期の生活と福祉</p> <p>①高齢期ってどういう時期？</p> <p>②高齢者とかかわってみよう</p> <p>③高齢化する日本を生きる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今の生活が、年をとってからの健康の基礎になることを意識できるように、正しい知識を身につけ、健康のためにできることを考えられるように工夫しました(第1号)。 現在の日本が直面している、超高齢社会についての正しい知識を身につけ、これからの福祉を維持していくために、主体的に社会の形成に参画することが大切であると意識できるように構成しています(第3号)。 	<p>56 - 61 頁</p> <p>62 - 69 頁</p>
<p>A編 第4章 共生社会と福祉</p> <p>①共生ってなんだろう？</p> <p>②ともに支え合う社会とは</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会にはさまざまな立場や考え方の人がいることに気づき、私たちの生活が支え合いによって成り立っていることが理解できるように工夫しています(第3号)。 社会保障の制度を支えているのは勤労世代であることを意識し、職業の大切さに気づくことができるように構成しています(第2号)。 	<p>73、78 - 79 頁 など</p> <p>75 - 77 頁</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
B編 第1章 食生活と健康 ①なぜ食べるのだろう？ ②私たちは何を食べている？ ③食品を選ぼう ④今と未来の体をつくろう ⑤持続可能な食生活を目指そう	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の機能や、ライフステージごとに必要な栄養の特徴を詳しく解説しています。生活習慣病などを扱い、日々の食生活と、健康の関係について考えることができるように構成を工夫しています（第1号）。 ・調理実習において、主食であるごはんやお茶の淹れ方などをふり返り、改めて日本の食文化を認識できるように構成しています（第5号）。 ・ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を中心に、郷土料理や行事食などを扱いました。生命を尊び、食卓に四季を取り入れてきた日本の優れた食文化を再認識することができます（第4号、第5号）。 ・世界の食文化を扱うことで、国際理解を深められるようにしています（第5号）。 	84 - 89 頁 118 - 131 頁 など 136 - 138 頁 139 頁
B編 第2章 衣生活と健康 ①衣服の役割ってなんだろう？ ②衣服はどうやってつくられている？ ③自分で衣服をつくってみよう ④衣服の計画・管理を知ろう ⑤今後の衣生活を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な衣服である和服について扱うことで、私たちの生活に根づいている日本の心を感じることができるよう工夫しました（第5号）。 ・日々の健やかな生活のために必要な、衣服の入手、洗濯、手入れ、着用のしかた、廃棄に至るまでの基礎知識を、丁寧に解説しました（第2号）。 	144 - 146 頁 151 頁 158 - 164 頁 166 - 173 頁
B編 第3章 住生活と住環境 ①私たちの暮らす住まいとは？ ②快適・安全に住もう ③持続可能な住まいのために	<ul style="list-style-type: none"> ・防災についての知識や事故への備えなどについて具体的に扱い、健康・安全に暮らすための知識を身につけられるようにしました（第1号）。 ・自然を取り入れた古民家などの例と、これから先の未来の住まい方を両方扱い、持続可能な発展について考えることができるように工夫しました（第4号、第5号）。 ・まちづくりに参加する高校生の例を挙げることで、社会の一員としての自覚を持ち、積極的に地域にかかわる意識の基礎をつくれるようにしました（第3号）。 ・気候や文化の影響を受けて発展してきた世界の住居を扱うことで国際理解を深められるようにしました（第5号）。 	189 - 190 頁 192 - 193 頁 194 頁 196 - 198 頁 195 頁など 199 頁など
C編 第1章 消費生活と経済計画 ①何をどうやって買う？ ②消費者問題と消費者を守るしくみとは ③消費者の権利と責任を考えよう ④社会経済につながる家計とは？ ⑤将来の経済計画を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の扱い方、意思決定の方法、キャッシュレス決済、クレジットカードのしくみなど、情報化時代で自立するために必要な内容を多く取り扱いました（第2号）。 ・自らの消費行動が持続可能な社会につながっていることを知り、主体的に社会の形成にかかわることの重要性が意識できるようにしました（第3号）。 ・経済と家計の関係を扱い、社会の一員としての自覚が持てる内容を重視しました（第2号）。 ・家計の管理や経済計画の重要性を取り上げ、職業、生活との関係や、将来を自律性をもって考えられるようにしました（第2号）。 	204 - 211 頁 218 - 219 頁 220 - 221 頁 222 - 229 頁

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
C編 第2章 持続可能なライフスタイルと環境 ①未来の地球環境は大丈夫？ ②持続可能な消費行動とは	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の重要性を実感できるよう、現在問題となっているさまざまな環境問題と、そのための法制度について扱っています（第4号）。 私たちの生活と環境のかかわりを理解するため、エシカル消費や持続可能な消費のあり方についてわかりやすく解説しています（第3号）。 	232 - 235 頁 236 - 237 頁
生涯の生活設計2 ① Well-being を実現しよう！	<ul style="list-style-type: none"> 高校生が「生活設計1」で考えた自分のライフプランを、これまでの家庭科学習を踏まえて見直し、より具体的な生活設計を立てるための資料を掲載し、自分の人生について主体的に考えられるようにしました。（第2号）。 	246 - 247 頁
My Career（キャリアインタビュー）	<ul style="list-style-type: none"> 職業や年齢の異なる人の生き方の例をインタビューとして示し、高校生が将来の働き方や家庭生活を想像する際に、人それぞれに多様な価値観があり、多様な生き方を尊重することが大切であると気づくことができるようにしました（第3号）。 	81 頁 201 頁 241 頁
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ・ホームプロジェクトの実践例 ・学校家庭クラブ活動の実践例	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家庭生活を見直し、見つかった課題の解決に向けて、計画、実践、評価する方法と、その実践例を紹介しています。ホームプロジェクトの経験を、学校や地域の課題解決に生かすことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことにつながるようにしました（第3号）。 	口絵 8 248 - 253 頁
食品成分表 食品成分表の見方		254 - 261 頁
暮らしの中のマーク・ラベル ライフステージと法律	<ul style="list-style-type: none"> これからの人生に必要な知識と教養を身につけられるように、生活情報や法制度を取り上げました。生活の中で必要な知識を身につけ、道徳心を養うことにつながる情報を掲載しました（第1号）。 	口絵 12 口絵 13 - 14

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

誰にでも読みやすく、親しみやすい教科書を目指し、ユニバーサルデザインフォントと、ユニバーサルデザインカラーを使用しました。図表なども、色弱の方にも見えやすいように配慮し、隣り合う色同士の並びを工夫しました。

図表や写真の内容をよりわかりやすく伝えるために、本文脇の側注スペースを広めに取り、見やすく配置し、豊富な資料を掲載することで、深い学びにつながるように配慮しました。

教科書の使い方を示し、明確でわかりやすい内容にしたことで、どのような先生・生徒でも取り扱いやすくなりました。

● 「体系的な学び」と「実践的な学び」

生活や社会の中から課題を見つけ、それに対して自分で考え、行動し、ふり返るといった一連のプロセスを通して、知識・技能を身につけ、思考力・判断力・表現力を育む**体系的な学び**ができる構成にしました。

本教科書は、「体系的な学び」を実現できるよう、以下のような工夫をしています。

● 3つのステップとふり返りの構成で体系的に学ぶ

各単元の導入部に設けた3つの「STEP」で、その単元の学習の流れや目標を示しました。

各単元末に設けた「ふり返ろう」コーナーでは、5段階で達成度をチェックすることができます。

● ウェルビーイングを軸に家庭科を学習

各章のとびらや各単元の「私の Well-being」コーナーなど、随所にポイントや問いかけを示し、体系的に学びながらウェルビーイングの実現を目指せるようにしました。

STEP 1	🔍 家族関係の変化や、男女協力の課題に気づこう。	STEP 2	📖 家族や地域社会の協力の重要性を理解しよう。	STEP 3	👤 家庭・職業生活での意思決定を具体的に考えよう。
---------------	--------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------------------

▲ 3つのステップで「気づき→理解する→意思決定」「課題発見→学習→実践」など、学習の流れや目標がわかる

ふり返ろう	達成度チェック					
	できなかった	1	2	3	4	5
●現在の日本の家族・家庭の変化とその課題について気づくことができた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●男女共同参画に向けて、どのような意識・行動が必要になるかを考察できた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●ワーク・ライフ・バランスを保つこと、家族や地域社会の人々との協働の重要性を理解できた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

▲達成度をチェックし、自分の生活をよりよくする一歩を踏み出すための問いかけに答えて、学習をふり返る

🌱 **私の Well-being** ▶ 自分の生活を豊かにするために、家庭や職業生活でどんな意思決定をするか、具体的に考えてみよう。

学習を単なる知識の習得ではなく、自分の生活や社会に関連づけ、考えたり、話し合ったり、実行したりして、将来に役立つ能力や態度を身につける**実践的な学び**も構成に取り入れました。

本教科書は、「実践的な学び」を実現できるよう、以下のような工夫をしています。

- 保育・介助・調理・被服などの実習の手順やポイントを、**写真や動画などのビジュアルを用いて詳しく解説し、実践的なスキルの習得を後押し**します。
- 時事問題をテーマにしたワークページ **Active Work** は**アクティブ・ラーニング**に活用できます。課題を発見し解決する能力だけでなく、すぐに答えが出ない問題について考える能力も育めるテーマを選びました。
- インタビュー動画、クイズ、シミュレーション、官公庁へのウェブサイトへのリンク、教科書の内容を補足する資料など、**デジタルコンテンツ**を充実させました。採点結果やワークシートはダウンロードが可能のため、学習管理ツールと併用することで**課題提出や評価**にも活用できます。

煮込みハンバーグ

ゴーヤチャンプルー



▲ 実習の手順やポイントは、写真や動画などでわかりやすく解説



インタビュー動画で実際の人の声を聞くことで、より深い学びを実践できる

▼ Active Work ページには「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」など、さまざまなワークを掲載

Active Work

みんなで支え合う介護～認知症を知ろう～

認知症や介護が必要な人と幸せに暮らすには？

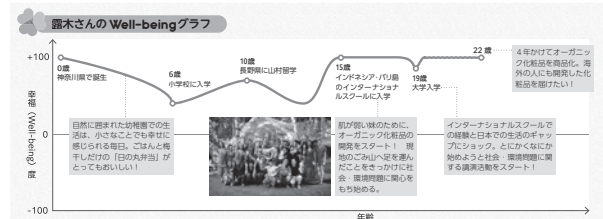
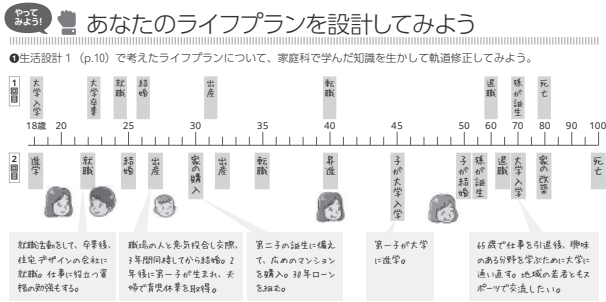
介護される人の気持ちを考えてみよう

Cross Study

●生活設計とキャリア教育

本教科書は、自分の生活や人生を考える**生活設計**と、社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度を育む**キャリア教育**も、家庭科教育の要として重視しています。

自分の生活設計について考える→A・B・C編を学習する→生活設計を見直すという流れで、**一冊を通して生活設計について意識しながら家庭科を学習**できるようにしました。また、各章の学習内容と関連する職業や人生の先輩の声を紹介し、**生活設計とキャリア教育との関連性**も示しました。



▲▲ライフプランニングのワークや、キャリアプランニングの参考となるモチベーショングラフを掲載

●社会・環境・他教科・伝統とのつながり

社会や環境とのつながりを強調するために、**SDGsの17の目標**を口絵や各章の扉ページで紹介し、自身の生活との関係や社会の課題について考える機会を提供します。

また、**小学校・中学校の家庭科で学んだキーワード**や**他教科とのリンク**を掲載し、学習の連続性や多面性を示しました。

さらに、日本文化については、**食・衣・住の観点から四季や気候風土、文化との関連性**をビジュアルで展開し、先人の知恵と伝統にふれることができます。

●高校生目線で学びやすさを追求

簡潔で読みやすいタイトルや文章、親しみのあるキャラクターとそのセリフ、イラストやグラフなどの図版の多用、データを視覚的に表現したインフォグラフィックなどが、生徒の興味・関心を引き出します。

自分が親なら、スプーンでごはんを食べている1歳の子どもにどう接する?

Q: 自分で親なら、スプーンでごはんを食べている1歳の子どもにどう接する?

☐ ぜんぜん親が食べさせてあげる
☐ うまく食べられないなら手伝う
☐ ぜんぜん自分で食べるまで見守る

Q: こぼしちゃいそうでもハラハラする～!

でも、「自分で食べたい!」って願を込めているなあ。

環境のために、日常生活の中で実践していることをチェックしてみよう。

Q: 環境のために、日常生活の中で実践していることをチェックしてみよう。

☐ マイバッグを持ち歩く
☐ マイボトルを持っている
☐ シャンプーなどは詰替用を選ぶ
☐ 冷蔵庫をすぐ閉める
☐ 食べ物を残さない
☐ 電気はこまめに消す

いつも持ち歩いているよ。

▲「等身大の高校生」をイメージしたキャラクターのセリフが、生徒に共感や気づきを与えます

学習のつながり 小学校、中学校の家庭科で学んだことをふり返り、覚えていたワードをチェックしよう。

SDGsと家庭科 これから学ぶ領域とかかわりがあるSDGsの目標(中略7、8参照)に注目してみよう。

<input type="checkbox"/> 物質とサービス	<input type="checkbox"/> 消費者の権利と責任	3 健全な生活	12 持続可能な消費と生産	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会を築こう
<input type="checkbox"/> 買い物、消費者	<input type="checkbox"/> 本営業者の経理	<input type="checkbox"/> 誓約	<input type="checkbox"/> 契約	<input type="checkbox"/> 憲法	<input type="checkbox"/> 平和と公正
<input type="checkbox"/> お金の管理	<input type="checkbox"/> 生活とお金	<input type="checkbox"/> 金銭の使いみち	<input type="checkbox"/> クレジットカード決済		

▲小学校・中学校の家庭科で学んだことをふり返り、これから学習する内容をSDGsの目標とのかかわりに注目させる

1月(睦月)

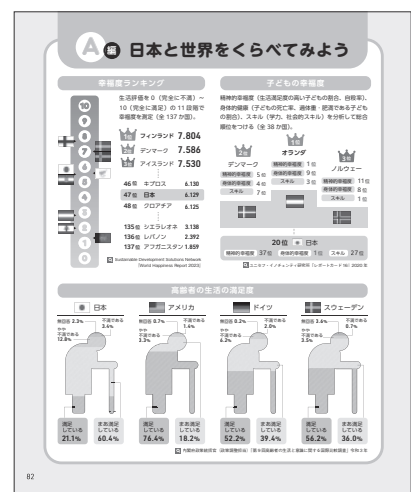
1/1 (正月)…おせち料理、お屠蘇、雑煮
1/7 (人日)…七草がゆ
1/11 (鏡開き)…お汁粉
1/15 (小正月)…小豆がゆ

寒くて雪が多い地域の場合(岐阜県 白川郷)

窓を二重にして冷気を防ぎ、雪が積もらないように屋根を急勾配にする。雪に埋もれたときのために2階に出入り口をつけるなど。

▲他教科との関連箇所に「LINKマーク」を掲載

▲季節の行事食や、気候風土に合わせて自然を取り入れた民家など、伝統文化の具体例を紹介



▲A・B・Cの各編末の国際比較インフォグラフィックページでは、世界における日本の位置づけを考えさせます

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Well-being マップ Well-being 人生すごろく SDGs と家庭科のつながりを考えよう 教科書の使い方 デジタルコンテンツの使い方		口絵 1 - 6 口絵 9 - 11	1
生活の課題を解決して Well-being を実現しよう！	D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	口絵 7 - 8	1
生涯の生活設計 1 ①自分の将来をイメージしよう！	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計	5 - 10 頁	2
A 編 第 1 章 青年期の自立と家族・家庭 ①自立への一歩を踏み出そう ②家族・家庭って何？ ③将来の自分と家庭を想像しよう	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (2) 青年期の自立と家族・家庭	11 - 28 頁	9
A 編 第 2 章 子どもの生活と保育 ①子どもはどう生まれ育つ？ ②子どもの生活にどうかかわる？ ③子育て社会の課題とは？	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (3) 子供の生活と保育	29 - 54 頁	17
A 編 第 3 章 高齢期の生活と福祉 ①高齢期ってどういう時期？ ②高齢者とかかわってみよう ③高齢化する日本を生きる	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (4) 高齢期の生活と福祉	55 - 70 頁	11
A 編 第 4 章 共生社会と福祉 ①共生ってなんだろう？ ②ともに支え合う社会とは My Career (キャリアインタビュー) 日本と世界をくらべてみよう	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (5) 共生社会と福祉 A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) (2) (3) (4) (5)	71 - 80 頁 81 頁 82 頁	5
B 編 第 1 章 食生活と健康 ①なぜ食べるのだろう？ ②私たちは何を食べている？ ③食品を選ぼう ④今と未来の体をつくろう ⑤持続可能な食生活を目指そう	B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康	83 - 140 頁	35

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
B編 第2章 衣生活と健康 ①衣服の役割ってなんだろう？ ②衣服はどうやってつくられている？ ③自分で衣服をつくってみよう ④衣服の計画・管理を知ろう ⑤今後の衣生活を考えよう	B 衣食住の生活の自立と設計 (2) 衣生活と健康	141 - 178 頁	23
B編 第3章 住生活と住環境 ①私たちの暮らす住まいとは？ ②快適・安全に住もう ③持続可能な住まいのために My Career (キャリアインタビュー) 日本と世界をくらべてみよう	B 衣食住の生活の自立と設計 (3) 住生活と住環境 B 衣食住の生活の自立と設計 (1) (2) (3)	179 - 200 頁 201 頁 202 頁	11
C編 第1章 消費生活と経済計画 ①何をどうやって買う？ ②消費者問題と消費者を守るしくみとは ③消費者の権利と責任を考えよう ④社会経済につながる家計とは？ ⑤将来の経済計画を考えよう	C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定	203 - 230 頁	16
C編 第2章 持続可能なライフスタイルと環境 ①未来の地球環境は大丈夫？ ②持続可能な消費行動とは My Career (キャリアインタビュー) 日本と世界をくらべてみよう	C 持続可能な消費生活・環境 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 C 持続可能な消費生活・環境 (1) (2) (3)	231 - 240 頁 241 頁 242 頁	4
生涯の生活設計2 ① Well-being を実現しよう！	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計	243 - 247 頁	3
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ・ホームプロジェクトの実践例 ・学校家庭クラブ活動の実践例	D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	248 - 253 頁	2
食品成分表 食品成分表の見方		254 - 261 頁	
暮らしの中のマーク・ラベル ライフステージと法律		口絵 12 口絵 13 - 14	
		計	140

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-144	高等学校	家庭	家庭総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
06 教図	家総 006-901	ウェルビーイングにつなぐ 家庭総合		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし		なし	
合計				0

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容